令和元年度　学校安全総合支援事業（学校安全体制の構築）の最終報告

学校名　大分県立臼杵支援学校

１　学校の情報

（１）学校規模

学級数１６　児童生徒数３８名

小学部	中学部	高等部	合計
９名（２名）	９名（１名）	２０名	３８名（３名）

※（　）は訪問教育児童生徒

職員数５４名

小学部教員	中学部教員	高等部教員	管理職・事務職員等	合計
１１名	１２名	１９名	１２名	５４名

（２）分掌の位置づけ

防災教育コーディネーター１名、防災教育副コーディネーター２名（１名は、生徒指導主任）

防災教育コーディネーター、防災教育副コーディネーターは、生徒指導部に所属。

「防災対策委員会」

（構成員）校長、教頭、事務長、主幹教諭、学部主事、教務主任、生徒指導主任、保健主任、防災教育コーディネーター

（３）地域環境

臼杵市井村にある本校は、海抜約３３ｍに位置し、避難所に指定されている。体育館の裏に山があり、土砂災害警戒区域（急傾斜地）に指定されている。

２　取組のポイント

本校は、臼杵市にある知的障がいや身体障がいのある子どもが通う支援学校であり、児童生徒数３８名、職員数５４名の小規模校である。発災時には、多大な混乱が起こることが予想されることから、二次被害を防ぎ、児童生徒が家庭や施設にいる際に発災した場合にも避難行動がとれるように、児童生徒・教職員・保護者・地域の方に対する防災意識・知識を高めることを目的として取り組みを実施していきたいと考える。また、本校は地域の避難所に指定されており、さらに大規模災害時には、警察や土木事務所、海上保安部の事務所も設置される。

そのために、防災教育コーディネーターを中心として、カリキュラムマネジメントを取り入れた教科横断的な防災教育・防災研修が行われるよう、他校や関係機関、地域と連携を図り、学校内の組織・体制作りをしていきたいと考える。

防災教育では、児童生徒に実践力をつけることを目標とし、主体性を持って行動できるよう、体験型学習や問題解決学習を取り入れていく。児童生徒の実態や発達段階に応じた防災教育の目標を設

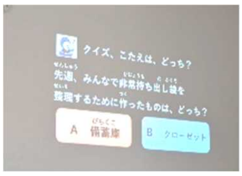
定し、指導する内容を整理・工夫して日々の学習の中にも防災の視点を取り入れた授業実践を行っていきたいと考える。

防災研修では、防災安全の中核となる教職員が防災教育の先進地や被災地を視察し、研修して得た知識を学校に持ち帰り、全教職員および保護者に還元する。また、災害から児童生徒の生命を守るため、学校における防災体制や防災教育の重要性と緊急性を十分認識し、防災に関する自らの意識や対応能力、防災教育に関する指導力が高められるよう、実践的な研修を行っていきたいと考える。

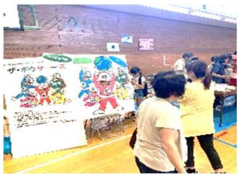
３　具体的な取組

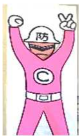
学校全体の取り組み

月	日	曜	項目	内　容	関係者等
４	３	水	職員研修	緊急捜索訓練　※ＨＰ掲載	教職員
	２６	金	歓迎遠足	・遠足コース内に防災クイズ２問を事前に設置し、出題 ・遠足コース内の『海抜の標識』探しを実施 ・遠足コース内に海抜１０ｍ地点に旗を事前に設置し、海抜１０ｍ地点での津波イメージを体験 ※ＨＰ掲載 	児童生徒 教職員
５	１４	火	避難訓練	火災を想定した避難訓練 ・放水訓練、消火訓練 ・消防車見学と乗車 	児童生徒 教職員 消防署
	中旬		個人備蓄品入替え	児童生徒の個人の備蓄品入れ替え ・水・食品 ・冬物衣類→夏物へ	生徒指導部 児童生徒（保護者）
	中旬		キャラクター作製	オリジナルキャラクター『ザ・ボウサイーズ』のキャラクターを考案、イラストとパネルの作製	防災・生徒指導部 美術
			防災ノート作製	防災ノート『ボウサイーズノート』の作製	防災・生徒指導部
			アンケート作成	児童生徒用、保護者・教員用のアンケート作成	防災
６	7	金	防災教育全体計画・今後の見通し	運営委員会で提案 ・防災教育全体計画	運営委員

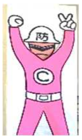
				・今後の見通し ・防災に関する授業等の提案	
	中旬		アンケート実施	・児童生徒を対象としたアンケートの実施 ・保護者・教職員を対象としたアンケートの実施	児童生徒 保護者 教職員
	中旬		備蓄庫の片づけ	・備蓄庫を作るための片づけ	高等部生徒
	２４	月	各学部目標達成指標	各学部目標達成指標 →児童生徒一人ひとりに目標指標達成基準を決定	教職員
	２５	火	全校防災授業 （ボウサＢ） 	全校児童生徒一斉授業 ・南海トラフ巨大地震クイズ ・災害・防災について ・非常用持ち出し袋の中身の確認 ・備蓄庫の整理 ※ボウサイーズの紹介 ※ボウサイーズノートの配布　※ＨＰ掲載 	児童生徒 教職員
	下旬		指導案枠	防災を取り入れた授業の指導案形式決定	防災
7	４	木	全校集会 （ボウサＢ） 	２５日の防災授業の復習クイズ ・みんなで作ったもの（備蓄庫） ・合い言葉『備えあればうれいなし』 ※ＨＰ掲載  	児童生徒 教職員
	１６	火	避難訓練	・シェイクアウト訓練の説明 ・シェイクアウト訓練 ・非常食体験　※ＨＰ掲載 	児童生徒 教職員
	１８	木	第１回推進委員会	・学校安全総合支援事業について ・防災教育モデル実践事業について ・各地域の取り組みについて	防災教育コーディネーター
	１９	金	終業式	全校児童生徒へ夏季休業中の宿題を提示 宿題内容　・『津波てんでんこ』とは？ ・家で非常用持ち出し袋の準備 ・『合い言葉』は？　※ＨＰ掲載	児童生徒
	２２	月	第１回実践委員会	・事業概要の説明 ・防災教育全体計画・年間計画の説明 ・実践に係わる意見交換	

				（参加者）大分大学減災・復興デザイン研究センター防災コーディネーター、防災・環境教育ラボ代表、臼杵市総務課、臼杵津久見警察署、大分海上保安部、大分県臼杵土木事務所、臼杵市消防本部、下北地域振興協議会、県教委学校安全・安心支援課、元ＰＴＡ会長、防災関係職員　※ＨＰ掲載	
	２４		職員研修 防災主催 外部講師・上山氏 川村氏	・地図、Ｉｐａｄを用いて児童生徒の居住地域のハザードマップ作り ・避難経路の確認 	教職員
	２９ ～ ３１	月 火 水	防災先進校等視察	岩手県立気仙光陵支援学校 いのちをつなぐ未来館	防災教育コーディネーター
８	７	水	地域交流 （防災）	ホットぼうしの製作 ※ＨＰ掲載 ※大分合同新聞（朝刊）８、17 掲載 	下北地区婦人部 防災・担任 高等部生徒３名 中学部生徒２名
	２１	水	職員研修 （緊急捜索）	・緊急捜索訓練	教職員
			職員研修 （防災）	・防災先進校等視察報告 ・今後の計画（9／3、10／26、12／10） ・環境整備（危険個所ＯＩＴＡの視点） ・発電機・カーインバーターの使い方 	教職員
	２３	金	職員研修 研修部主催 外部講師・雫石氏	講義 「特別支援の視点での防災教育」	教職員
	２６	月	防災先進校等視察	熊本県立熊本支援学校	防災教育副コーディネーター1 名・生徒指導部１名
	２９	木	始業式	防災に関する夏休みの宿題の答え合わせ ・『津波てんでんこ』とは？ ・家で非常用持ち出し袋の準備 ・『合い言葉』は？ 	児童生徒 教職員

				・夏休みの体験発表で熊本地震の被災の様子を見学したという発表が複数	
９	３	火	保護者研修 ＰＴＡ主催： 外部講師・板井氏	講演 「災害発生！その時どうする？～助けられる人から助ける人へ」	保護者
			引き渡し訓練	・受付、引き渡し 	児童生徒 保護者 教職員
			職員研修 防災主催 外部講師・板井氏	講演 「災害発生！その時どうする？～助けられる人から助ける人へ」	教職員
	６	金	全校集会 （ボウサＡ） 	ワンランク上の避難行動 ・シェイクアウト（上を見る、姿勢を低く、頭を守る、じっとする） ※頭を守る際には、頭と手の間に隙間を作る。机の脚を持つ。	児童生徒 教職員
	７	土	下北地区安心・安全フェスタへ参加	『ほっとぼうし作りの写真パネル』と『ボウサイーズの紹介パネルと顔出しパネル』を展示 ※ＨＰ掲載 	下北地区関係者 大分大学学生 校長・防災 高等部生徒３名 中学部生徒１名
	９	月	シェイクアウト （９：１５）	・朝の時間のシェイクアウト訓練 	児童生徒 教職員
	１０	火	学校安全（防災）研修会	講義 「大分県の地形・地質及び気象の特徴と自然災害」 「九州北部豪雨の被災経験とタイムラインを活用した防災教育」 「青少年赤十字防災教育プログラムによる防災教育の実践事例」	防災教育コーディネーター・防災教育副コーディネーター1名
	２７	金	第２回実践委員会	・これまでの実践報告 ・今後の打ち合わせ （参加者）大分大学減災・復興デザイン研究センター防災コーディネーター、　防災・環境教育ラボ代表、臼杵市総務課、臼杵津久見警察署、大分海上保安部、大分県臼杵土木事務所、臼杵市消防本部、下北地域振興協議会、県教委学校安全・安心支援課、元ＰＴＡ会長、防災関係職員 ※ＨＰ掲載	

	下旬		防災記事掲載	社会福祉法人　恵の聖母の家　園内報 「ルルドの丘　９月」に防災教育の取り組み掲載	恵の聖母の家 防災
10	３	木	全校集会 （ボウサＣ） 	・非常食「ザ・ジャガリコポテサラ」の紹介 ※ＨＰ掲載 ※大分合同新聞（朝刊）10.8 掲載	児童生徒 教職員
	１５	火	シェイクアウト （１３：００）	・昼休み中のシェイクアウト訓練	児童生徒 教職員
	２６	土	ほっとぼうし贈呈式 イムラ・スマイルフェスティバル （学習発表会） 避難訓練	・ほっとぼうし贈呈式 ・開会式で生徒会役員による防災寸劇 ・スローガンの横断幕にボウサイーズのイラストを起用 ・中学部ステージ発表の劇で地震シェイクアウトを披露 ・保護者・一般の方参加の避難訓練（南海トラフ巨大地震想定　午後から実施） ※ＨＰ掲載 ※大分合同新聞（朝刊）10.31 掲載	児童生徒 下北地区婦人ボランティア 教職員 保護者 一般参加者
	３０	水	職員研修（防災）	・避難訓練の振り返り（ビデオ視聴）	教職員
	３１	木	避難訓練 （ボウサＤ） 	・レスキューシートの紹介 ・教員の避難所ファッションショー ・避難所生活体験 	児童生徒 教職員
	下旬		個人備蓄品入れ替え	児童生徒の個人の備蓄品入れ替え ・水・食品 ・夏物衣類→冬物へ	生徒指導部 児童生徒（保護者）
11	８	金	全校集会	・避難所生活体験の振り返り ・表示マークの確認 ・12/３、12/10 の予告	児童生徒 教職員
	１３	水	第２回推進委員会	・防災教育モデル実践事業の中間報告 ・各委員の取り組みや研究の紹介	防災教育コーディネーター
	２２	金	校内放送	・12/10 の避難所モデルルーム開設・体験会、避難所ファッションショーモデル募集について	防災

12	３	火	全校防災授業 臼杵津久見警察署 本部設置訓練	・12/10 の避難所モデルルーム開設リハーサル ・本部設置訓練見学 ・防災ヘリからの通信訓練 ・パトカー見学 	臼杵津久見警察署 大分県警本部機動通信部隊 児童生徒 教職員
	５	木	全校集会	・小学部の防災教育の紹介 ・新キャラ「ボウサＧ」	児童生徒 教職員
	１０	火	防災教育研究発表会 全校防災授業 （ボウサＤ） 臼杵津久見警察署・大分県臼杵土木事務所・大分海上保安部本部設置訓練 大分大学減災・復興デザイン教育研究センターによるドローン見学・体験 炊き出し 研究発表 職員研修 防災主催 外部講師・鈴木氏	・避難所ファッションショー ・避難所モデルルーム開設・体験 ・避難所トイレ体験 ・本部設置訓練見学 ・警察・土木事務所・海上保安部による仕事紹介 ・大分大学減災・復興デザイン教育研究センターによるドローン見学・体験 ・炊き出し給食 講演 「子どもが感じ・考え・動ける防災学習を目指した特別支援学校の実践例 ～雲レーダーの活用から～」 	臼杵津久見警察署 大分県臼杵土木事務所、大分海上保安部 大分大学減災・復興デザイン教育研究センター、大分県教委、実践委員、下北地区婦人ボランティア、一般参加者、児童生徒、教職員
	１６	月	シェイクアウト （１０：００）	・授業中のシェイクアウト訓練	児童生徒 教職員
	下旬		アンケート実施	・児童生徒を対象とした第２回アンケートの実施	児童生徒 防災・各担任
	２４	火	終業式	全校児童生徒へ冬季休業中の宿題を提示 宿題内容　・『ローリングストック』とは？ ・家での非常食作り ・『合い言葉』は？ ※ＨＰ掲載	児童生徒 教職員
	２４	火	目標達成評価	・児童生徒一人ひとりの目標指標達成基準による評価　→学校評価の重点目標の評価	教職員

	２５	水	感謝状受賞	・臼杵・津久見警察署より地域の災害防止対策に貢献したということで感謝状受賞 	臼杵・津久見警察署 臼杵支援学校
１	８	水	始業式 （ボウサＣ） 	防災に関する夏休みの宿題の答え合わせ ・『ローリングストック』とは？ ・家での非常食作り ・『合い言葉』は？ ※感謝状受賞のお知らせ ※ＨＰ掲載	児童生徒 教職員
	9・10	木 金	学校防災士資格取得研修	学校防災士資格取得研修 防災士試験	防災教育コーディネーター
	１４	火	防災教育連絡協議会	海洋科学高校にて第１回臼津地区高等学校防災教育連絡協議会 ・情報交換	海洋科学高校、臼杵高校、津久見高校、臼杵市役所、防災教育コーディネーター
	２８	火	シェイクアウト （１３：３４）	・授業中のシェイクアウト訓練	児童生徒 教職員
	下旬		防災記事掲載	社会福祉法人　恵の聖母の家　園内報 「ルルドの丘　１月」に防災教育の取り組み掲載	恵の聖母の家 防災
	下旬		アンケート実施	・保護者を対象とした第２回アンケートの実施	保護者
２	６	木	第３回推進委員会	・防災教育モデル実践事業の最終報告 ・各委員の取り組み報告等	防災教育コーディネーター
	２７	木	第３回実践委員会	・今年度の実践報告 ・来年度以降について （参加者）大分大学減災・復興デザイン研究センター防災コーディネーター、　防災・環境教育ラボ代表、臼杵市総務課、臼杵津久見警察署、大分海上保安部、大分県臼杵土木事務所、臼杵市消防本部、下北地域振興協議会、県教委学校安全・安心支援課、元ＰＴＡ会長、防災関係職員 ※ＨＰ掲載	

４　取組における成果と課題

（１）　成果

〈学校内〉

・全校児童生徒で備蓄庫を作り、備蓄の意識が高まった。

・学校のオリジナルキャラクターを作り、楽しく防災教育がすすめられた。

・充実した職員研修や防災先進校視察が実施できた。

・実践的な避難訓練や定期的にシェイクアウト訓練が実施でき、児童生徒の意識が高まり、実践力がついてきている。

・防災の視点を取り入れた授業実践ができた。

・他の分掌やＰＴＡ等の協力があり、学校全体で行事や研修に防災が取り入れられた。※歓迎遠足、イムラスマイルフェスティバル、全校集会（特活）職員研修（研修部）キャラクターのイラスト・パネル（美

術担当）保護者研修（ＰＴＡ）避難訓練、引き渡し訓練、その他防災に関すること（生徒指導）

・児童生徒、保護者、教員へのアンケートを実施でき、児童生徒の防災への意識・知識が伸びていることが分かった。保護者教員についても防災意識が変わってきている。

・児童生徒一人ひとりに目標指標達成基準を設け、４段階評価の３以上を目標とし、目標を達成できた。

〈保護者・関係機関・地域〉

・保護者や地域の方と合同での避難訓練が実施できた。

・臼杵・津久見警察署、大分県臼杵土木事務所、大分海上保安部の本部設置訓練を実施できた。

・地域の方の協力で炊き出しを行うことができた。

・ほっとぼうし作り、下北地区安心・安全フェスタへ参加など地域とのつながりが持てた。（研究発表会の際、地域の方から地域と臼杵支援学校との距離が近づいたとの声をいただいた。）

（２）課題

・避難訓練の際の教師間の声の連携。

・関係機関や地域とのつながりをどう保っていくか。

・防災教育の在り方の検討。（教育課程の位置づけ）

５　今後の取組の見通し

３月　全校集会

３月　避難訓練（土砂崩れ）

３月　教員アンケート実施

３月　実践事例集作成

３月　来年度の防災計画作成